福祉 ユーカリが丘

ユーカリが丘地区
社会福祉協議会
発行人　黒川勝喜
編集人　清水悦子
〒 285-0843
千葉県佐倉市中志津 2-32-4
西部地域福祉センター内

第 12 回ふれあい福祉まつり開催

「ふれあい福祉まつり」を開催致しました。

目的は、多様化、高度化する住民の福祉サービス、ニーズに応えられるよう、既存の福祉施策、事業を見直し、時代の変化に対応したものに再構築していくことが社会福祉協議会の地区社協に、今最も求められています。こうした地域福祉の実現を目指し、「ふれあい福祉まつり」を開催することにより、地域の皆様との交流とともに、その活動の基となる財源を確保するものであります。

また、市民の皆様のご理解とご協力を得るための、環境づくりの一環として行います。志津地区の、志津支会・西志津地区社協と合同で行うため、福祉委員同士の交流の場ともなります。

志津コミュニティーセンター大ホールのバザー会場では、日用雑貨を商店や各町内会を通じ個人から、農産物は農家から献品していただいたものを販売しました。毎年好評で、この地域以外からも毎年楽しみにして来てくれる方もいるほどです。

やや肌寒い気候の中の外の模擬店会場では、100人を超えるボランティアの方が奮闘し、つきたての餅150kg、やきそば500食、焼き鳥1200本や、とん汁などを販売し、それぞれ完売して歓声があがっていました。

地域の皆様、献品（バザー提供品）のご協力ありがとうございました

バザー会場は大勢のお客様でにぎわいました

毎年人気となるつきたてのお餅です

今回初登場のイカ焼きも好評でした

会場の外のお店も繁盛しました

バザー会場の様子

写真のお持ち帰りコーナーも盛況でした

敬老の集い第一ブロック

於：小竹小学校 体育館
平成 15 年 10 月 11 日（土）　出席者 101 名

南京玉すだれの演技

肩もみはどうですか

松原章さんの謡曲

小竹小金管部による金管楽器演奏

元気な「よさこい音頭」を披露

くす玉もうまく割れました

学校タイムを楽しみました

カナリヤの会の「童謡の歌声」

似顔絵を描くこども達

学校タイムの風景

全員で佐倉音頭を楽しみました

第1ブロックの『敬老の集い』は秋晴れの中、開催されました。

オープニングを松原章さんに謡曲「鶴亀」を朗々と謡ってお祝いしていただき、とてもすてきな『敬老の集い』の幕開きとなりました。

第一部の式典においては、主催者挨拶、ご出席された米寿及び高齢者の方々のお元気なお姿を紹介し、来賓のご祝辞をいただくなどして進みました。

第二部が余興の部となっており、始まりを福祉委員が苦労のうえ作ったくす玉を、児童二人が割りオープニングとなりました。

学校タイムでは、3年4年の児童の授業参観としての取り組みになり、大勢の保護者が見守る中での交流の場となりました。こども達は積極的に招待者の中に入り、似顔絵を描くなどふれあいの場が会場にできました。また、一部の親達も、招待者とこども達と一緒にふれあいの場に参加され、なごやかに交流がおこなわれました。

次に、渡辺昭是さんと宍戸広美さんの奇術がおこなわれました。鳥を取り出すなど大技も演じていただきみごとでした。

そして、小竹小金管部による「金管楽器演奏」を楽しんだ後、食事タイムとして「ちょっとひといき」として渡辺昭是さんの演じる「南京たますだれ」とカナリヤの会の皆さんによる「童謡の歌声」を楽しむとともに一緒に歌いました。

最後にお楽しみ抽選会を行いすばらしい賞品が渡され、『敬老の集い』が終わりました。

小竹小学校の積極的な協力と、多くのボランティアの協力で、招待者の皆さんに楽しんでいただき、無事終了することができました。ありがとうございます。

第1ブロック長　則武広行

敬老の集い第二ブロック

於：志津コミュニティーセンター
平成 15 年 10 月 4 日（土）　出席者 79 名

服部さんのビデオ上映

式典の風景

机の配置に工夫した会場風景

抽選会も盛況でした

往年の青年のリードで歌います

今年も炭坑節で踊ります

全員で楽しく歌いました

シンセサイザーの軽やかなＢＧＭが流れる中、第２ブロックの『敬老の集い』は幕を開けました。

テーブルの上の豪華なアレジメントのお花、折り鶴、可愛い童人形。お一人、お一人に用意された小粒のキャンディ。全てに本日の主賓を温かい心でお迎えしたいというボランティアの心優しい思いがいっぱいに詰まっています。

式典につづいて、ご家族のご理解とご協力を頂き、７月から準備を進めました、６丁目にお住まいの、服部玉恵さん（94歳）の日常を追った、お元気なお姿のビデオ上映に、皆が元気をいただいたひと時。

大きな声で歌を歌い、新米２キロの特別賞まで入った昼食時の「サザエさん一家」にちなんだ楽しい抽選会。

ゲームで勝ち残った方々の故郷の話に触れ、その後、ご招待者・ボランティア揃っての大きな大きな炭坑節の輪。

最後に、学生服を着た往年の青年が登場し、ボランティア全員の「青い山脈」の歌声で皆さんをお送りして、２時間半の『敬老の集い』の幕を閉じました。

ご招待者の方からは、「楽しかった」「又来年も楽しみにしています」「元気でいられるように頑張ります」「ありがとう」という声を頂き、握手を求められ、心熱くしたボランティアもおりました。

新しい試みを随所に取り入れ、コミセン会場という立地を大きく生かした第２ブロックの『敬老の集い』。

多くの方の知恵をいただき、一人一人の小さな力が結集して大きな力となり、無事に終えることができました。

個人でご協力くださいました方々をはじめ、井野中ＰＴＡ、井野小ＰＴＡ、クライネスサービス、各自治会、福祉委員の皆様の多大なご協力に心より感謝申し上げます。

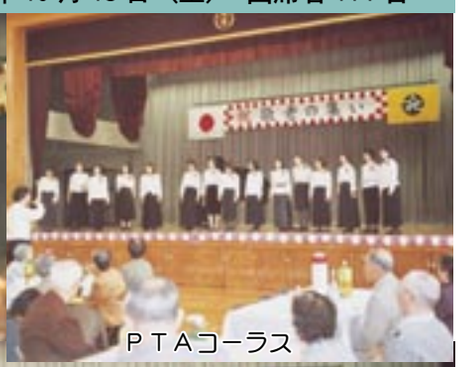
第２ブロック長　久保埜　容子

敬老の集い第三ブロック

於：青菅小学校　体育館
平成 15 年 10 月 18 日（土）　出席者 114 名

佐倉市長もご出席

子ども達からのプレゼントです


ＰＴＡコーラス

手話ダンス

抽選会で当選した方々

子ども達の歌を楽しみました

さわやかな秋空のもと、ユーカリが丘地区社協第３ブロックの「敬老の集い」が青菅小学校で行われました。ことしは、75歳以上の方をお招きして式典を行うことになり、出席者数が気になりましたが、多数の方が元気なお顔でお見えに成り、我々一同大変嬉しく思いました。

今年は、当会場に初めて、渡貫市長がお見えに成り、ご招待者の皆様には喜ばれ、実行委員皆さんも張りきって接待されていました。今年は、学校の都合も有り、十月下旬の開催となり、幾分寒かったこともありストーブを出して、ご招待者をお迎えしました。その為毎年お手伝いをして下さるＰＴＡの皆さんがお出しする温かいお茶が大変好評でした。

式が終り二部の青菅小学校児童全員が入場してくると場内が和やかになりました。最初に1・2年生が踊りを踊り、その後ご招待者に手作りのプレゼントをしました。プレゼントを頂いたオジイチャン・オバアチャン達は子ども達の力作に目をほころばせ、喜んでおられました。その後3・4・5・6年生と演技が進み、無事子供たちが退場すると、第三部、地元の方達による演芸が披露されました。いよいよ最後、恒例のお楽しみ抽選会が始まりました。今年も地元の友野さんより新米の寄付があり、当たった方は重いので届けて貰えないか等、贅沢な発言が有ったりして、和やかな内に閉幕と成りました。

第3ブロック長　鯨井裕嗣

敬老の集い第四ブロック

於：志津小学校 体育館
平成 15 年 10 月 4 日（土）　出席者 144 名

全員で合唱しました

手遊びを楽しむ佐倉市長

手遊びを楽しむ参加者

アマーピレの演奏で歌います

写真協力：ユーカリ殖産　池田 尚 氏

第４ブロックの「敬老の集い」特色は、学校がこの日を福祉教育の日（学校行事）として位置付けており、こうした学校側と連携を密にして「敬老の集い」を運営し福祉教育の支援するという点にあります。また今回は会場入口から席まで志津小学校の児童に付き添って案内してもらい、さらに余興の部でもお年寄りと直接ふれあう場となりました。

「敬老の集い」はリコーダグループ「アマービレ」の竪笛の演奏で始まり、君が代も竪笛の伴奏で斉唱され歌詞と曲の一体感があって、ピアノとは一味違ってよいものでした。主催者の挨拶、記念品贈呈者紹介に続き、渡貫佐倉市長、望月佐倉市議会議員から来賓祝辞を頂き、最後に招待者代表の平野さんから謝辞があり式典を終えました。

余興の部はまず、光の子保育園の可愛い園児たちのお遊戯で和やかな雰囲気になり、続いて再度アマービレの演奏で全員で「ふるさと」を歌ったり、中世のお祭りの舞曲に手拍子を打ち一気に会場は沸きました。後半は志津小学校児童の司会で、スライド上映（校舎や運動会などの今昔）、昔の遊びについてお年寄りへのインタービュー、金管クラブの伴奏で合唱があり、最後に児童全員がお年寄りの中に入りまず年寄りとしっかりと握手、続いて昔懐かしい「茶摘み」の歌に合わせてお年寄りと相手を代えながら手遊びをしました。身体と頭を使っての手遊びにお年寄りの方々の生き生きとした表情とエネルギーを見て、また「保育園児と小学生との取り合わせがよかった。」、「楽しかった。何よりも子どもから元気をもらった。」との感想に、お年寄りの思いやりを感じるとともに、ふれあいの場を設定してもらってよかったと、この集りに協力した者一同感じました。

第４ブロック　吉田　劭

【福祉委員研修】

福祉委員を対象として行っている「福祉委員研修」は、今年度も既に3回行いました。

第一回　5月25日　テーマ「地域福祉コミュニティ形成の推進をNPOとの連携、協働の中でどう考えるか」講師：NPO法人青葉台さわやかネットワーク理事長山田治男様

第二回　8月30日　テーマ「まちおこしと福祉サービスの事業化」講師：チャレンジセンターLET，Sきさらづ　筒井啓介様

第三回　11月9日　テーマ「学校支援体制はここまで進んだ」講師：木更津市教育委員会教育部学校教育課主幹兼指導係長篠原和行様

講演する筒井啓介氏

【ボランティア懇談会】

8月3日、志津コミュニティーセンターにおいて、「ボランティア懇談会」を開催しました。

参加した7団体は活動の内容は違っても、目的を「住み良い街づくり」に置いている。皆さん生きがいを持ち地域に根づくボランテイア活動に意欲を表し、又NPOを目指している団体もあり、必要に応じて連携をもち協働できる事を望みたい。

子供たちを、自然の環境の中で社会のルールなどを教え学び合う、大人との接点を多く持つチャンスと環境づくりを大人が設定したい。

一つの街の中で最も大切なことは、日常のさりげない「おはようございます」「こんにちは」等のあいさつです。ユーカリの街が皆さんで、いつもあいさつが気軽に交わされる事を目標に持ちましょう。

参加団体の紹介

「いきいきサロン」高齢者、独居の方々を対象に、月一回サロンを開設

「100円喫茶」年齢を問わず、おしゃべり・ゲーム・歌など憩いの場を提供

「おやじの食事学同好会」料理を通じて男どうしのコミュニケーションをもち、ボランティア活動にも参加

「ユーカリ和の会」施設での支援、お弁当配食

「クライネスサービス」防犯、環境、福祉

「ユーカリ地域文庫」ユーカリ五番町ハイツ自治会館で、週一回子供さんに文庫の案内とお話

「里山を愛する会」小竹地区などの丘を手入れして、自然を大切に守る。子供たちに遊びに来てもらい、自然の中で遊びやマナーなどを学んでほしい。

【北志津児童センター支援】

■レック&トライ

6月14日（土）の午後「レック&トライ」が行われ、ユーカリが丘地区社協も第一ブロックのメンバーを中心に支援を行いました。当日は雨の予報にも関わらず、うす曇の天候にも恵まれた中、佐倉市老人クラブ連合会志津第一支部の方も加わり、総勢75名の参加となりました。

準備体操の後、1月に引き続き、「グランドゴルフ」を楽しみました。今回も10組に別れての、個人・団体戦を行いました。各組とも10ホールを回りましたが、参加者が多かったこともあり、1ホールづつに十分時間を掛けれたので、各組ともメンバー間のコミニケーションもとれたようで、あちこちから歓声が上がっていました。

ルールもわかりやすく、老若男女が共に楽しめるスポーツとして、「グランドゴルフ」の良さを再度認識しました。

■自然体験学習

――福祉委員でもある、先崎の友野文夫さんの、田畑の提供や日常の手入れなど、全面的にご協力頂いております。

○田植えといも苗植え、同日に行いました。

5月10日晴天の中、北志津児童センター主催の自然体験行事「田植え」「いも苗植え」を行いました。この自然体験をご支援、ご指導頂く、先崎地区の友野文夫さんの下に、大勢の親子が集り、社協からも役員を中心に多数お手伝いに参加しました。

周囲の水田に比べてやや遅れての田植えでしたが、大勢の参加者により、一列また一列とあっというまに、田んぼいっぱいに苗が広がり、周囲と同じになりました。終った後の田んぼを見て、〝さすが手植えだ、機械植えにはない「味」があると自画自賛〟。

その後、1キロ以上歩いて畑に移り、いも苗植えの体験へ。ボランティアなどが、苗どこ作りなどの準備をしている中、チビッ子は、広い畑の中を自由に走りまわって、本当に楽しそうでした。中には、周囲のおとなの方が後ずさりするような、いもむしを見つけ、ビニール袋に入れて持ち帰った子も。植え方を教わって、思い思いの場所に一斉に苗植えをしました。

「おやじの食事学同好会」のボランティアの面々による、大鍋三つで作った特製味噌汁と持参したお弁当を皆で食べ、ピクニツク気分。畑の中で大勢の人達と食べる弁当は本当に美味しい！

○稲刈り

9月13日（土）天候に恵まれた中で、4カ月前に体験学習として植えた、稲の刈り取りを行いました。

参加者全員が鎌の使い方の指導を受けた後、刈り取りを行いました。時間と体力の関係で、全部を鎌で刈り取る事はできませんでしたが、残った稲は、友野さんがコンバインであっという間に刈り取ってくれて、機械の威力を見せ付けられました。

今年は冷夏で米の出来は悪いと言われていましたが、刈り取った収穫量は昨年並みにあって、皆さん喜んでおりました。協力者の友野さんの手入れが良かった賜物だと思います。

刈り取った稲は、友野さんのお宅で、乾燥と精米をした上で、後日、参加した子供たちに配られました。

○いも掘り

10月11日に恒例となった、「いも堀り」を行いました。ご協力者の友野さんや、当日に豚汁作りで協力して頂いた「おやじの食事学同好会」の皆さんなどのボランティアを含め、百人を超える人たちで〝収穫〟の喜びと美味しい豚汁を味わいました。喜んでいもを掘っている、子供達やその親をみていると、今後もできる限りこういった場を提供していきたいと思いました。

■わんぱく祭り

子どもたちが身近で気軽に楽しみ、そして思い出づくりにつながる「おまつり」の行事を体験し、異世代の交流の中で「子育て発信地・地域の子育ち」の一環となる場あり、今年で14回目となりました。ユーカリ地区社協も例年通り「もちつき」で協力し、16名の福祉委員が、4年生の児童2人と共に、杵でつき、出来上がった熱々の餅をまるめて販売しました。

【三世代交流会】

7月6日（日）に、井野中において「三世代交流会」を行いました。井野中とPTA及び生徒に、地域の独居などの高齢者、ボランティア団体「おやじの食事学同好会井野中サークル」の面々に地区社協からも第2ブロックを中心に参加し、総勢200名になりました。

ユーカリが丘が開発されてからこの地に住まわれた方が多い中、昔からこの地に住まわれている石川さんより、昔の様子などを話して頂きました。井野中の場所をはじめ、ユーカリが丘が住宅地になる前の様子などに、中学生もそうですが、PTAなど大人の人も聞き入っていました。

恒例となった井野中ブラスバンドの素晴らしい演奏や放送部の朗読、PTAの美しいコーラスなどを楽しみ、ボランティア団体「おやじの食事学同好会井野中サークル」の方々が作ってくれた〝手打ちうどん〟を美味く皆でいただきました。最後は楽しいゲームで会場が盛り上がり散会しました。来年以降も新しい企画も入れながら続けて行きたいと思いました。

【身障者施設支援】

■身障者も積極的に祭りを体験

7月26日に行われた、地域最大のお祭り「ユーカリ祭り」に身障者施設「千手園」の園生も会場に来て楽しみました。少しの手助けがあれば普通に楽しめるので、社協の各ブロック支援グループの方に付き添ってもらい、場内の模擬店での買い物や踊りを見たり、振舞いのうどんを食べたりして祭りを一緒に楽しみました。

第3回「ふれあい給食会」開催

11月としては暖かく穏やかな陽気の中、37名の方々にご参加いただき「ふれあい給食会」を催しました。1、2年生のかわいいお迎えに導かれ、4クラスに分かれて普段どおりの学校給食をいただきました。お年寄りの中には、小さな子どもたちとの会食を楽しみに、1時間以上も前から待たれている方がいらしたり、子どもたちも、この日のためにプレゼントしようと、ひとりひとりが首から下げられる名札やランチョンマットを作製したりなど、互いに待ち遠しく思っていた様子がとてもよく伝わってきました。学校生活にちょっと慣れてきた1、2年生ですが、大好きなお爺様、お婆様を迎えて、浮かれて周りをぴょんぴょん飛び回ったり、そうかと思うと手を引いて転ばないようと注意してさしあげたり、子どもらしいあどけなさや素直さ、やさしさが伺えました。そんな子どもたちを見守るお年寄りの皆さんの目は細くなるばかりでした。ほんの1時間余りのひと時でしたが、大変貴重な時間を過ごさせていただきました。朝早くから準備に携わっていただきました、PTAや学校の先生方、給食室の職員の方々ご協力ありがとうございました。

（記）浜田智子

【ふれあい給食会】
福祉教育の一環として、ユーカリが丘地区社会福祉協議会と小竹小学校の連携のもとに、高齢者と児童が一緒に給食をいただきながら、交流を深めることを目的に、昨年より開催し、今回で3回目になります。

グランドゴルフを楽しむ集い

グランドゴルフをご存知ですか？老若男女誰でもすぐに楽しめるスポーツ。四～五人でグループを組み、八ホールを回ります。

ユーカリが丘地区社協は、北志津児童センターと市老連第一支部との共催事業として、年二回グランドゴルフ大会を実施し、世代間の触れ合いと地域の方々の交流を深めて参りました。その大会参加の皆様から、続けて欲しいとの要望が多く、九月より第一ブロック交流事業グループで、月二回「グランドゴルフを楽しむ集い」を開いております。

グランドから今は秋の深まりを増していく井野の森を眺めながら、これからは凛とした空気の中で冬枯れの田んぼを見下ろして…と、移り行く季節を感じながら、青空の下毎回三十数名の近隣の方々が集って和やかにゲームを楽しんでおります。

ふらりと寄ってみて下さい。見学者も大歓迎。ご一緒に「コーン」と快音を響かせて心地よい汗を流しましょう。

◇日時　三月までの毎月二回
（第一・第三水曜日）
十時～十一時三十分（雨天中止）
◇志津コミュニティセンター・グランド
◇参加費　一回　百円（グランド使用料他）
飲物・汗ふきタオルをご持参下さい
◇問合せ先　第一ブロック
交流事業グループ　保谷
電話（FAX）四六一―五〇三三

編集後記

早いものでもう12月。第19号の広報紙も12月に入ってからの発行になってしまいましたが、ご覧になっていただけましたでしょうか？ページ数も増え、少しでも様子をお伝えできるよう写真も数多く載せてあります。ひょっとしたらお知り合いのお顔が写っているかも知れませんよ。また行事に参加並びにお手伝いをしてくださった皆様、ありがとうございました。参加できなかった方、ぜひ来年お待ちしていますのでご参加ください。もちろんお手伝いも大歓迎です。

私事ですが、今年こそは早くに大掃除を済ませ、のんびりと大晦日を過ごそうと思っていたのに、またもや夢で終わりそうです・・・

ちょっと早いですが、皆様どうぞよいお年を！

問合せ先
ユーカリが丘地区社会福祉協議会
事務局（西部地域福祉センター内）
電　話　四六三―四一六七
ＦＡＸ　四六三―四一六九
＊毎週　火・木・金
（午後1時～5時まで）